

## 道 徳

### I 研究主題

よりよく生きるための基盤となる道徳性が育つ道徳教育の研究  
－学びがいのある道徳科の授業を要として－

### II 研究のねらい

道徳教育は「自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」ことを目標にしている。これは、児童生徒が生きる上で出会うであろう様々な場面において、よりよく生きるために主体的に判断をして、道徳的行為を実践することができるような内面的資質を育てていくことである。

特に、学校における道徳教育の要である道徳科の授業においては、その特質に留意し、計画的・発展的に「学びがいのある授業」を毎時間積み上げていくことが肝要である。

私たちは、この学びがいのある道徳科の授業を通して、児童生徒自身の「よりよく生きるための基盤となる道徳性が育つ」ことを目指し、本主題を設定する。

- 学びがいのある授業とは
  - ・ 真剣に考えることができた時間（集中して考え、しんどかったけれど時間が知らないうちに過ぎた）
  - ・ 自分の思いや考えが素直に誠実に発言できた時間（全部言えてスッキリした）
  - ・ 自分の思いや考えがみんなに認められた時間（受け止めてもらえてうれしい、満足した）
  - ・ 自分がもっていない価値観に出会えた時間（新しい考えに出会って、ハッとした）
  - ・ 道徳的価値の大切さを再認識、再確認できた時間（胸にストーンと落ちた《納得した》）
  - ・ 守るべき道徳を自らが納得してつくることができた時間（満足感とともに身構えができた）

### III 研究の視点

#### 1 道徳教育の推進と充実

- (1) 校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の推進体制を確立する。
- (2) 各校の実態及び特色を生かした全体計画・年間指導計画などを作成する。
- (3) 重点内容項目を意識し、各教科等との横断的な学びを実践する。
- (4) 学習指導要領に示された道徳科の目標をもとに、「学びがいのある授業」が実施できるように、研修を推進する。

#### 2 学びがいのある道徳科の授業の充実

- (1) 道徳科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるために、以下のような工夫を取り入れながら授業の質を高める。
  - 教材内容の可視化
    - ・ 内容理解を促すために、ICTを活用する等、教材提示の仕方を工夫し、登場人物の関係性や出来事の時系列などを可視化する。
  - 論点の可視化
    - ・ 誰もが分かり、考えたいような発問を工夫するとともに、児童生徒の考えを構造的に板書に示すなど、「何を考えるとよいのか」を理解できるようにする。
  - 内面の可視化
    - ・ 内面を可視化するために効果的な問い返しをし、考えの根拠を語らせることで、自己を見つめられるようにする。

- (2) 明確な指導観を持ち、指導と評価の一体化を図った授業を構築する。
- 教師が価値理解や児童生徒理解、教材理解を深め、明確な指導観を持って授業を行う。
  - 評価は、児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握するように努め、本時のねらいや展開と関連付けて行う。
  - 評価を授業改善に生かすとともに、児童生徒のよい点や成長の様子を積極的に捉え、それらを日常の指導や個別指導に生かしていくように努める。
- (3) 多様な価値観に触れるための工夫を行う。
- 児童生徒が、自らを振り返って成長を実感したり、今後の課題や目標を見付けたりすることができるよう、共に考え、語り合う「場」を工夫する。
    - ・ ICT、思考ツール、心情メーターなど、「語り合い」を促す教材教具の有効活用
    - ・ 役割演技、テーマ学習、問題解決的な学習の導入など、教材や児童生徒の発達の段階に応じた指導方法の工夫
- (4) 道徳的諸価値の理解を深め、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自己の生き方を考えさせる工夫を行う。
- 道徳的価値の理解（3つの理解）を深める学習に努める。
 

- ・ 価値理解 …… ねらいとする道徳的価値は大切だと理解すること
    - ・ 人間理解 …… ねらいとする道徳的価値は大切であるが、その実現の難しさを理解すること
    - ・ 他者理解 …… ねらいとする道徳的価値の実現に向けては、多様な感じ方や考え方があつたことを理解すること
  - 3つの理解を基にして、道徳的価値が自分の生き方と具体的にどうつながるかを、自分自身に問う「場」を設定する。

### 3 開かれた道徳教育の充実

地域教材の開発・活用などに家庭や地域の人々、各分野の専門家等の積極的な参加や協力を得るなど、家庭や地域社会との共通理解を深め、連携を図る。

- (1) 道徳教育推進教師が中心となって、参観日等での道徳科の授業公開や地域学校協働活動を生かした道徳教育を計画し、地域と連携し、道徳教育を推進する。
- (2) 他学年や他学級、特別支援学級と連携するなど、インクルーシブ教育の観点や人と人との様々な関わりを大切にした道徳教育の推進を図る。
- (3) ホームページや学校便り等を活用し、保護者・地域への発信を積極的に行う。

#### 令和6年度に開催予定の研究大会

○ 第60回全国小学校道徳教育研究大会（徳島大会）	11月14日（木）、15日（金）
○ 第58回全日本中学校道徳教育研究大会（神奈川大会）	11月21日（木）、22日（金）
○ 第29回四国小・中学校道徳教育研究大会（徳島大会）	11月15日（金）
○ 第27回愛教研小・中学校道徳教育研究大会	8月9日（金）
	松前総合文化センター
○ 第61回道徳教育研究大会（愛媛会場）	8月2日（金） 砥部町文化会館